

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和 6年 1月 17日

協議会名:須崎市離島航路確保維持検討協議会

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
須崎市	坂内～埋立航路 <陸上交通との連携状況> 巡航船は地域の小中学生の登下校に合わせた時刻表で運航しており、路線バス等の陸上交通との乗り継ぎ時間は平均すると1時間半程度かかるため、乗り継ぎには不便な状態である。	<前回の評価結果の概要> 利用者数については、長引く新型コロナウイルスの影響により、一般客の主な利用者である歩き遍路客の利用が想定よりも少なかったことから、目標が達成出来ず、B評価となっている。運航の確保という点では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。引き続き、感染防止対策を徹底するとともに、コロナ収束後を見据えた反転攻勢策の計画・準備等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。 <評価結果の反映状況> 定期航路の一般利用については、須崎市ホームページ等での継続的な情報発信を行い利用促進を図った。 観光面については、旅行者等への周知や積極的な受入れに取り組んだが、キャンセルなどもあり前航路年度および目標値を下回った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B <坂内～埋立航路> 【旅客数(一般・定期)】 目標達成率:103.2% 目標 :3,297人/年 実績 :3403.5人/年 対前年比 :111.6% 対前々年比:129.5% 【1便あたりの利用者数】 3.3人 【運賃収入(一般・定期)】 目標達成率:109.1% 目標 :883,440円 実績 :963,510円 対前年比 :117.3% 対前々年比:176.6% 【貸切運航】 目標達成率:76.9% 目標 :130,000円 実績 :100,000円 対前年比 :55.6% 対前々年比:200% 【収支率】 4.8% 対前年比 :0.4% 対前々年比:2.1% アフターコロナのインバウンド需要の高まりにより、歩き遍路客などの利用者が徐々に増え一般の乗船人数が増加したが、4月以降は定期券を利用する小中学生が減少したことにより定期券の運賃収入が減少した。 貸切運航については目標に届かなかったが、航路年度の後半は貸切運航の問い合わせが多くあり今後の利用に期待を持つことができる。	定期航路の一般利用については、須崎市ホームページ等での周知により、一般利用者はもちろん、近隣を訪れた観光客にも定期便を利用してもらえるよう、情報発信を継続する。 定期利用の児童・生徒数は、今後も減少し続ける見込みであることから、観光面での利用拡大を目指す。坂内一鳴無間、横浪一鳴無間の貸切運航を旅行者に広く周知し、ツアーなどの行程に取り入れてもらうことで利用者の増加を図る。